

おかやまけんろうしきょう <ケア・アップ>

# care UP

ワタシたちの“カイゴ”  
せきららトーク

今、そしてこれからの中護を  
次世代を担う4人が語る座談会

2022  
vol.01

contents

- リアル介護CH
- パネル写真展
- 聖火リレー



## 座談会

# ワタシたちの“カイゴ” せきららトーク

岡山県内各地の施設で働く男女4人が集まって座談会を開催しました。

働くうえでのやりがいや、悩み、プライベートのあれこれなど…

本音に迫ります。

これから就職を考えている方は特に必見です!

特別養護老人ホーム  
**旭ヶ丘**  
介護職員  
**新谷 真里**<sup>(27)</sup>さん  
キャリア: 6年9ヶ月

特別養護老人ホーム  
**日本原荘**  
介護職員  
**小林英里香**<sup>(27)</sup>さん  
キャリア: 8年8ヶ月

地域密着型特別養護老人ホーム  
**庄の里「なごやか」**  
介護職員  
**森田 泰弘**<sup>(23)</sup>さん  
キャリア: 1年

会場



特別養護老人ホーム  
クレールエstate悠楽 併設  
**Arii's cafe**  
倉敷市真備町有井

Q1

## カイゴのしごとをはじめた きっかけはなんですか

**森田さん:**僕が介護を始めたきっかけは、大学時代に学んだことを活かしたかったからです。あとは、今勤めている施設が職場見学の時にとても雰囲気が良くて、他は受けずにすぐ入職を決めました。

**嶋田さん:**私は小学校時代、学校が終わってから近所の法人のデイサービスに預かってもらっていました。そこで高齢の方とお話しする楽しさに気づき、自ら進んで曾祖母の在宅介護と施設介護両方に関わるようになったんです。そこでの経験から「自分が知識をつけて介護する側になれば、せめて自分の家族だけは守れるんじゃないか」と思い、福祉系の高校に行くことを決めました。就活の時、福祉系の就職フェアで今の施設に出会ったんですけど、施設長とずっとお話して(笑)気づいたら自分の中で「もうここに就職する!」と決まっていました。

**森田さん:**第一印象って大切ですよね!

**嶋田さん:**「挑戦したいことがあれば、いくらでもサポートしてあ

げるよ。失敗しても僕たちがちゃんとカバーしてあげるから」って言ってくださったんです。そして今、入職して色々とさせてもらっています(笑)

**新谷さん:**私も、中学生の時に祖父に介護が必要になったことがきっかけです。身体の小さい祖母が、自分よりも身体の大きい祖父を介護するのはとても大変そうでした。当時の私は近くで見ているだけだったので「私にも何かできることがあったらな」と思い、これがきっかけで介護の学校を目指しました。そして、介護の学校に進学後、最初に行った実習先が今の施設だったんです。利用者さんにすごく丁寧で、とても良い施設で…最初に実習に行ったのも大きいかもしれないのですが、印象深く



て、そのまま就職して、もう7年が経ちます。

**小林さん:**私は、中学生の夏休みに介護ボランティアに参加したのをきっかけに、介護に興味を持ち始めました。それから高校生になり、就職をどうしようかと考えていたときに、自分の祖父に介護が必要になって…。自分の祖父に何かしてあげられるような仕事がしたいと思い、中学時代のボランティアの経験を思い出して、今の施設への就職を決めました。

**新谷さん:**じゃあ、高校卒業してからずっと今の施設で働かれて

いるんですか?

**小林さん:**そうです。高校卒業してからずっとなので、もう8年くらいになりますね。

**森田さん:**じゃあ、みんな1回も転職したことないってこと?

**小林さん:**みんな続けていてすごいですよね。ちなみに私、福祉系に全然関係ない食べ物系の高校に通っていたんですよ。

**嶋田さん:**良いですね。絶対スキルになりますよ。でも、全然関係のないところから入ってくるのもすごいですね。色んな道があるなあ。介護の仕事に興味をもったきっかけはみんな自分の家族の存在が大きいですね。

## Q2 | カイゴのしごとの楽しさ&やりがいを教えて

森田さん：僕は、利用者さんと他愛もない会話をしている時が一番楽しいなと感じます。書類整理などの仕事はなるべく早く終わらせて、できるだけ利用者さんとお話しする時間を作りたいって思っています。ソファーやテレビのある憩いの場で利用者さんと一緒に座っておしゃべりしていますよ。

嶋田さん：私の施設では「指名担当」っていう取り組みがあるんです。利用者さんのこれから的生活や医療、生活相談員との連

携などを全部1人します。今、指名担当をさせてもらっているのですが、利用者さんのご家族と信頼関係を築きながら、最期に「嶋田さんでよかった」と言つていただける時が、この仕事をしていて良かったなと感じます。

新谷さん：私がやりがいを感じるのは、自分が企画した行事で利用者さんが楽しんで笑ってくれているときです。私のところは特別養護老人ホーム（以下：特養）なので、入所すれば施設が

生活の場になります。そのため、少しでも利用者さんに楽しんでもらえるよう、自分たちで行事を企画するのが楽しいです。

小林さん：私は、利用者さんに「あなたがいてよかった」「一緒にいてくれてよかった」と言っていただいた時です。特に最期の看取りの時に自分の名前を呼んでくれることがあつたりすると、関わってよかったな、この方



の最期に立ち会えてよかったなと思います。ほんとにその時は泣きそうです。

## Q3 | やっぱり大変なところもあるよね、カイゴのしごと



嶋田さん：私は腰痛が悩みですね。元々腰が弱くて…。「若いのに」とか「そんな歳じゃなかろうが」とか言われるんですけど、もう痛いもんは痛いんですよ（笑）

小林さん：雨の日とか、寒い日は特に痛くなりりますよね。

森田さん：利用者さんへの口腔ケアや排泄ケアをしながら、その他の雑務もこなさないといけないので大変です。利用者さん自ら動いてくれるよう声掛けもしてみるのですが、うまくいかないこともあります。

嶋田さん：時間内にこなさないといけないプレッシャーはありますよね。

新谷さん：認知症を持たれている利用者さんが相手だったら、思いが伝えられない、伝わらないもどかしさやしんどさがありますよね。

嶋田さん：どうしても介護度が高い利用者さんばかり対応してしまって、介護度の低い利用者さんに時間がかけられないっていう。「お話ししましょう、お散歩にいきましょう」みたいに声はかけているんですけど。対応出来ないことが多くて申し訳なくなってくるんですよね。

新谷さん：他で言うと、今も昔も人間関係ですかね…。新人の頃は、早く仕事に慣れて、上の人たちについていかないといけないプレッシャーを感じていました。働き始めて7年目の今はリーダーを務めているのですが、私より年上の職員さんに対して指示することもあって、年齢関係なくまとめていかないといけない大変さを感じています。

小林さん：私は皆さんと違って、学生時代に介護の勉強をしてこなかったので、入職してすぐはついていくのが本当にやっとでした。今は業務に慣れてきて、自分も仕事を任せてもらえるようになってきたのですが、仕事量が増えることで利用者さんそれぞれと関われる時間が少なくなっているなとは感じています。日頃は「定時でがんばって帰ろう」って思うんですけど、夜勤明けはどうしても残っちゃいますね。

嶋田さん：朝、無駄にハイになって元気になりますもんね（笑）

小林さん：帰るときとかね（笑）

## Q4 | これからカイゴのしごとをはじめる人へメッセージ

森田さん：介護の仕事はとても楽しいです！利用者さんと笑い合ったり、感動したり、白熱したり…とても思い出に残る仕事です。利用者さんとの関わりを深めていくうちにやりがいも感じて、介護の仕事をしていて良かったなと感じます。

嶋田さん：失敗することもあるけど、実は昔の失敗が今の実生活につながっていました。「あの失敗があるから今があるんだ」と思い出せる日が絶対にくるので、学生の間にいっぱいチャレンジして、いっぱい失敗してほしいです。あとは、自分が知らな

い時代を生きてきた利用者さんから学ぶことも多くて…。介護って、本当に深いです。

小林さん：介護のお仕事は病院と違って、病気を直したら終わりではありません。特に特養は、生活のすべてを一生支えていくお仕事だと思っているので、そ



の分本当に責任も大きくて、ほんと深い仕事だと思います。1回施設の見学なんかに来てもらつて、雰囲気を感じてもらいたいです。

嶋田さん：とにかく、介護業界に限らずかもしれません、若手が足りないですよね。フレッシュな人材求む（笑）

小林さん：最近は移乗用リフトやICTツールを使うなど、介護業界はすごく進化しています。給与なども上がり介護職員の待遇もどんどん良くなっています。若い方もぜひ興味を持って欲しいですね！



新谷さん：先輩職員をはじめ、利用者さん、そのご家族などたくさんの人からたくさんのことを学ぶことのできる環境です。利用者さんの穏やかな生活を支援できるこの仕事で、ぜひ一緒に働きましょう！



# リアル介護チャンネル 福祉現場を発信！

岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会が主催「おかやま総合福祉・介護フェア2021」は、感染症拡大防止の観点から、ステージイベント企画等をWEB配信に切り替え、老施協が企画しての限定スペシャル動画を作成しました。県内5つの福祉施設を訪問取材し、各介護施設での特徴・取り組み・魅力などリアルな介護現場VTRにコメントするオリジナル動画となっています。

限定コンテンツとして  
**只今配信中！**

- 取材ナビゲーター：萌乃さん  
(アーティストとして活動中、県内大学生)
- スペシャルゲスト：安藤なつさん  
(お笑いタレント『メイプル超合金』)



「リアル介護チャンネル」Youtube動画URL  
<https://www.youtube.com/watch?v=6JYV-WlbkwA&t=268s>  
 ※こちらの動画は令和4年3月末まで視聴可能です。

岡山県老施協ホームページにおいても訪問取材の動画を中心に配信中です！  
[http://www.okayama-roushikyo.jp/miryoku/index\\_html](http://www.okayama-roushikyo.jp/miryoku/index_html)  
 ※令和4年4月以降も視聴可能です。



## 輝くkaigoの人達 写真スライドショー



コロナ禍の影響で、パネル展が場所を決めて開催することが難しくなり、写真と動画を組み合わせたスライドショーを作成いたしました。福祉関係者の方はもちろんの事、それ以外の一般の方、学生等の若い世代に向けて介護の魅力を発信できればと考えております。利用者様と関わさせていただく介護職員の日常を切り取った写真や動画から皆様に何か（優しさ・温かさ・笑顔・喜び・楽しさ・夢・輝き……）を感じていただければ幸いです。

更に一枚ずつの写真を『じっくり鑑賞』していただくためにインスタグラム上で写真展を開催することにしました。写真にまつわる背景や物語を知ってもらい更なる興味・関心を持って頂ければと期待しています。



岡山県老人福祉協議会ホームページからご覧いただけます。  
 是非「輝くkaigoの人達」をご覧ください。  
[http://www.okayama-roushikyo.jp/miryoku/index\\_html](http://www.okayama-roushikyo.jp/miryoku/index_html)

この企画は、介護現場で輝いているスタッフに焦点をあて介護の素晴らしさ、そして魅力と感動を広く発信することを目的に、岡山県内の老人福祉施設・事業所から寄せられた写真を使用しています。

## 2021年5月20日 聖火リレーに参加しました



57年前の東京オリンピックについてご利用の方々にお話しをお伺いしたのがきっかけでした。ご利用の方々がその当時の時代背景と共に前回のオリンピックについてお話ししてくださった時の活き活きとした表情。その表情からオリンピックの力を強く感じたことが聖火ランナーに申し込んだきっかけでした。その後、まさかの当選！きっかけを作ってくださったご利用者の皆様にも伝え、自分のことのように喜んでくださいました。

実際の聖火リレーは新型コロナウイルス感染症の影響でトーチキスだけとなりましたが、当日は「一生に一度の経験」と思い、貴重な体験ができました。後日、施設内聖火リレーを開催し、ご利用者の皆様の前で聖火リレーをさせていただき、ご利用者の皆様の活き活き輝く目を再び見ることができ、大変嬉しかったです。

特別養護老人ホーム 作東寮  
養護老人ホーム 作東寮 主幹 芦田 誠